九州教具株式会社

長崎県大村市

生産性向上 需要獲得 担い手確保 サービス

社是「誠実にして正確を旨とし社会に貢献 すべし」を基に新たな価値を創出

- ○同社の強みを駆使した多様な取組で地域経済振興計画 「来なっせ 100 万人」の実現に貢献
- ○国籍、性別、年齢にとらわれず、社員一人一人が「そ の人らしさ」を発揮できる企業づくりを目指す
- ○「永続する企業」を目指し、新たな価値の創造、CSV 経営への果敢な挑戦

企業基本情報

所 在 地 長崎県大村市桜馬場 1 丁目 214-2

電話 /FAX 0957-53-2177/0957-53-1068

U R L http://q-bic.net/

代表 者 代表取締役社長

船橋 修一

設 立 1946年

資 本 金 6,000万円

従業員数 243人



会社概要

1946年、文具等の物販業として長崎県大村市にて創業。「売上」を「価値」、「利益」を「お役立ち」と表現することで徹底した顧客起点の意識づけとダイバーシティの促進を図る。現在、①ソリューション事業部(複写機の販売、IT機器保守サービス等、オフィス・ビジネスに関わるすべてのサポート)、②ホテル事業部、③ウォーターネット事業部(災害に備えた飲料水の供給)の3つの柱で新たな付加価値の創造に挑むサービス事業を展開。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

>>> 強みを駆使した多様な取組で「地域経済振興」に寄与

400年の歴史と伝統をもつ「やきものの町」波佐見町(長崎県)は、斜陽となった陶磁器産業を観光資源として活用し「来なっせ 100万人」を掲げて誘客に取り組んできたが、さらなる集客のため、九州教具へホテル開業を依頼した。両者は地域経済振興に一体となって取り組むとした立地協定を締結し、ホテルのみならず町内に無料 Wi-Fi 環境を整備する等、魅力ある町づくりを共同で実施した。現在は観光客に加え、外国人や若者の移住者も増加し、100万人計画は達成が目前となっている。



ホテルブリスヴィラ波佐見外観と立地協定式

>>>> 社員一人一人が「その人らしさ」を発揮できる企業づくり

2000年頃より、女性の職域を広げ、仕事と私生活の両立支援に力を入れて取り組んできたため、ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティはしっかりと社内風土に根付いている。管理職立候補制度や外国国籍人材の積極採用で年齢や国籍、性別にとらわれず多様な価値観や働き方を認め合う環境があたりまえになり、社内の活性化がモチベーションの向上につながり、それを原動力として顧客満足を高めるための商品や新たなサービスの創出がなされている。



外国国籍社員による社内英語教室や呈 茶のサービス

>>> 新たな価値の創造、CSV 経営への果敢な挑戦

社是「誠実にして正確を旨とし社会に貢献すべし」を基に、時代に即した商品や独自サービスの在り方、社員一人一人の意欲を最大限に引き出す組織づくりに柔軟に取り組んできた。その集大成が「CSV(Creating Shared Value = 共有価値の創造)経営」である。全国に先駆けたホテルの全館禁煙化や、地元大学との協業による女性専用フロアのリニューアル等、社員の発案を社会的価値にまで高め、「人の役に立つ」人間として育成することが企業永続の鍵と認識している。



社是および全館禁煙のホテルベルビュー長崎出島